

みんなの楽しい保育園

コロナウイルスはまた形を変異させて、一気に広がりを見せています。当園でも園児の感染が確認されて今後の状況が心配なところです。保護者の皆様のお仕事に影響がでないようにと感染対策には園でも気を付けていますが、引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

さて、幼児園の園庭は、先月摘心したあの小玉スイカがなんと、4個も大きくなっていて、とうもろこしやゴーヤなどもわさわさっと元氣よく育っています。次々と実るゴーヤを給食室で天ぷらにしてもらって食べた子どもたちは、苦いかおいしいとかワイワイと言いながら楽しんでます。花が咲き、野菜が実れば園庭の生態系も変わってくるようで、ダンゴムシが大量発生して子どもたちの興味をそそり、プランターの下や、花壇の草むらから捕まえてきて飼育ケースに入れて飼うことになったようです。

餌は給食室からもらう野菜の切れ端で、ダンゴムシはキャベツよりもほうれんそうが好き、人参よりもりんごの皮が好きだということに気づいたり（にじ組さんの持論ですけど）、そして、飼育しているダンゴムシの糞の掃除をしているときに、もぞもぞと白い小さな動くものを発見。驚いたことに、赤ちゃんが5匹も生まれていたのだそうです。白い小さなダンゴムシの赤ちゃんは、触るとやっばりまん丸くなるそうですよ。子どもたちはどんなにびっくりしたことでしょね。保育園の毎日、とても刺激的です。

続いて、乳児園の職員の日誌にあった保育のひとこまでです。

「Uくんが青、Sくんが黄色の色水が入った霧吹きをシュッシュッと紙に吹きかけていた。ふたりで「つぎはここ、つぎはここ」と一緒に吹きかけて遊んでいたが、絵の具が下に流れていくにつれて、色が混ざっているのを見て「みてみて、みどりいろになったよ」と、嬉しそうだった。」とありました。子どもたちの気付きを笑顔で見守っている職員の様子まで見えてくるようで嬉しくなります。

保育園では皆さんに伝えきれないほどのエピソードが毎日あって楽しくてたまりません。こうして毎年、水や氷、絵の具、夏の作物や花などに触れながら開放的に夏を楽しんだ子どもたちは、夏が終わるところになると、いつも「なんだか大きくなったな」と感じます。小さな手にブルバグを毎日嬉しそうに持って来ている姿からも、わくわくして登園している様子がわかります。今日はこれをしてと何かやらされるのではなく、小さい赤ちゃんも、自分でやりたいことを選んで遊んでいます。当園の理事長は日頃から、「子どもはやりたいことをとことんする。とことん遊べる環境を通して非認知能力を伸ばす。子どもは集団ですること、個人でやりたいことを粘り強くすることの両方が必要。個性の強い子、やりたいことをとことんやる子、そういう子が世界をリードする人になる。」と言っています。保育園はただ遊ばせているだけというイメージがあるようですが、子どもは興味のないことを教えられても身にはつきません。

小さな廃材のカップからひたすらペットボトルに水を汲んだり流したりを繰り返していることも、楽しいからひたすら続けていて、その中で未来に繋がる科学や数学を学んでいるのです。乳幼児期の豊かな体験が将来に繋がっていくのだと思います。たくさんわくわくするあそびの中で、心を動かす好きなことに出会ってくれたなら嬉しいです。



7月28日〜29日に年長しる組さんが北広島町までお泊り保育に行ってきました。緑豊かな山の中で、ひぐらしの鳴く声を聞いたり、たわわに実ったトウモロコシの収穫体験をしたり、大きな露天風呂に入ったあとは星空を観察して大満足の一泊二日を過ごしてきました。このお泊り保育の様子は、幼児園主任がドキュメンテーションにまとめて後日お知らせいたしますので楽しみにしてください。また、お泊り保育は年長組さんだけのことでなく、2歳までの生活習慣の自立が大切になります。着脱や自分の物の管理、紙パンツからの卒業のタイミングも時期を逃してしまわないように丁寧に関わっていきましょう。

園長

にじいろ プロジェクト2

先月からにじ組さんが遊んでいる土粘土を乳児園でも遊んでみました。

20キロの塊を4つに分けて、お部屋の隅に置いておくと、ちらちらと見ながら子どもたちは気になっている様子でした。先生たちがその土粘土を部屋の中央に持っていきこうしていると、「何してるの?」と質問攻め。子どもたちもワクワクしながら集まってきました。そして、「いっしょにやる〜」とお手伝いをしながら、重たい粘土の塊を運び出したのです。いつも楽しいことで遊んでくれる大人に対する信頼感や期待感が育っている場面だと感じました。

乳児園主任

初めての土粘土

土粘土の感触を楽しむ子どもたちみんな集中しています



「よいしょ、よいしょ」と、重たい塊を運び出し、準備のお手伝い



らいおん組さんと一緒に楽しんでいるりす組さん